

## アルタイの至宝展

主 催：静岡県立美術館、静岡新聞社・静岡放送、  
アルタイの至宝展組織委員会  
後 援：外務省、文化庁、ロシア連邦大使館  
協 賛：JR東海  
協 力：日本通運  
会 期：平成17年7月26日（火）～9月4日（日）  
〈36日間〉

休 館 日：毎週月曜日

アルタイは中央アジアにひろがる一地域で、美しく豊かな自然環境から「アジアの真珠」と呼ばれている。また、東西両文明をつなぐ「草原の道」の要衝として、数々の民族が往来し、独特の文化が形成されてきた地域でもある。本展は、わが国ではほとんど紹介されたことのなかったこのアルタイの魅力を紹介するもので、全国4会場を巡回する特別展である。展示は、アルタイの文明を「歴史」「自然」の二つの側面から紹介するものであり、ノボシビルスクのロシア科学アカデミーから貴重な資料を借用して構成された（詳細な展示構成はつぎのとおり）。

### [1] アルタイの歴史

（旧石器時代、新石器・青銅器時代、初期鉄器時代、バジリク文化の墓、諸民族の時代）、[2] アルタイの自然と生活

（生活、シャーマンの世界）

出品資料は地域の特性を反映したもので、金銀細工などの金工品や装飾品、武器、衣類などが多く出品された。さらに、重要な文化的事例としてシャーマン（霊能者）の祭祀用具などが紹介された。また、貴重な考古資料として、旧石器時代のマンモスの骨格、入れ墨の残る男性ミイラなどの出土品はとくに好評を博した。

なお、上述のマンモス骨格は、無料エリアであるエントランスに展示された。この試みは好評で、マンモスの前で記念写真を撮る家族連れの様子が多くみられた。また、2度開催された講演会は、普段当館には縁の薄い歴史ファンの方々を中心にいずれも100人前後の聴衆を集めた。これらの試みにより、一般の美術ファン以外の客層にも喜んでいただくことができたと考えられる。

### ■カタログ

- ・29.8×22.6cm 192ページ
- ・エッセイ  
「アルタイ至宝展に寄せて」 西谷正（九州大学名誉教授）
- 「アルタイの旧石器文化と日本列島」 小畑弘己（熊本大学文学部助教授）
- ・作品図版、年表、出品目録、遺跡分布図

### ■ラジオ・テレビ放送

（ラジオ）

- ・FM-Hi情報番組「レスト・ラ・トゥール」内にて担当者電話出演（7月26日13:20から約10分間）
- ・SBSラジオ「こんにちはは県庁です」担当者電話出演（7月27日9:10から約5分間）
- ・FMしみずマリナル情報番組内にて担当者電話出演（7月28日13:00から約5分間）
- ・SBSラジオ「山田辰美の土曜はごきげん」内「日産ラジオナビ」コーナー現地中継放送担当者出演（8月20日8:20から約10分間）
- ・FM-Hi情報番組「レスト・ラ・トゥール」スタジオ生放送担当者出演（8月23日13:20から約10分間）

### ■新聞・雑誌報道（広告除く）

（新聞）

- ・毎日新聞朝刊静岡版（7月13日）  
「文身ミイラ展示 「アルタイの至宝展」26日から静岡県立美術館」（吉崎孝一記者）
- ・静岡新聞夕刊（7月19日～23日、5回連載）  
「アルタイの至宝展」（九州大学名誉教授 西谷正氏）
- ・静岡新聞朝刊（7月26日）  
「迫力のマンモス骨格 アルタイ至宝展きょうから公開」（無署名）

（雑誌）

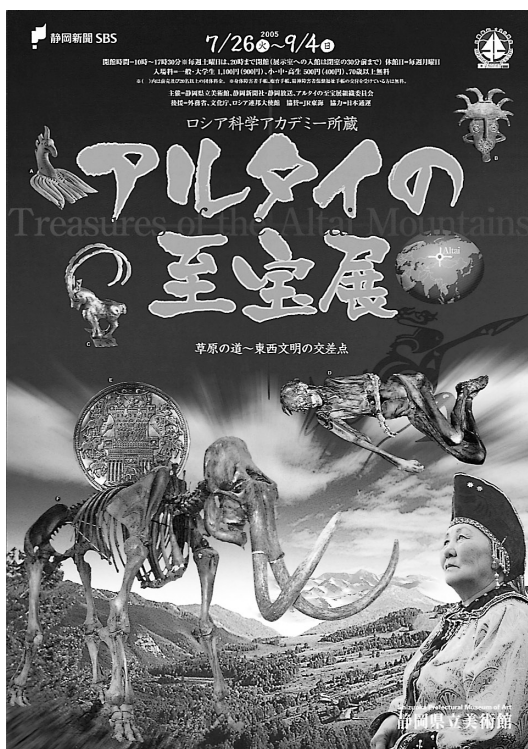
- ・「びあ」中部版（7月28日号）  
「ART」欄：「文身ミイラやマンモス骨格を並べアルタイ文明の魅力を紹介！」

### ■関連事業

- ・講演会「アルタイ古墳の発掘」  
8月7日（日）14:00-15:30  
講師：西谷正氏（九州大学名誉教授、伊都国歴史博物館館長）  
入場者91名

- ・講演会「ユカギル・マンモスって知ってる？」  
8月28日（日）14:00-15:30  
講師：濱田隆士氏（東京大学名誉教授、日本科学協  
会理事長）  
入場者132名

■出品目録 P.94～98ページ参照



▲ チラシ表紙